

●ダイヤモンドエレクトロニクス

3機能を統合した車載充電器を開発

ダイヤモンドエレクトロニクスホールディングス(株)(大阪市淀川区塚本1-15-27、☎06-6302-8211)は、子会社のダイヤモンド電機(株)が充電と車内機器への伝送、急速充電への切り替えの3機能を

統合した車載充電器(写真)を開発したと発表した。電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHEV)において、小型化、軽量化に貢献できる。

EV、PHEVには車載充電器をはじめ、様々な車載電装部品が搭載されている。普及拡大に向けては、電装機器のさらなる小型化、軽量化が求められる。開発した車載充電器は、



6・6kWの充電機能と車内電装機器給電用のDC/DCコンバーター、急速充電への切り替えを行うシャクシヨンプボックスを一体化した。トランスおよび放熱レイアウトを工夫し、既存の充電器より約30%小型化した。また、3つの機能を統合したことでハーネスの削減などシステムレベルでの部品点数削減、小型化、軽量化が可能になる。

ダイヤモンドエレクトロニクスホールディングスは、傘下に自動車部品メーカーのダイヤモンド電機とパワーコンディショナーメーカーの田淵電機(株)を擁する。両社が持つ車載電装設計、製造技術と電力変換技術を融合させた製品開発を行っている。